

千年の森便り No.223

2022.04.22

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

編集 真鍋昌義

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

4月10日(日) 晴 臨時活動日

センサーカメラのデータ回収と、もしかしたらまだヒナスミレが咲いているかもしれないと思い、4月10日午後に急きょ臨時活動を行いました。

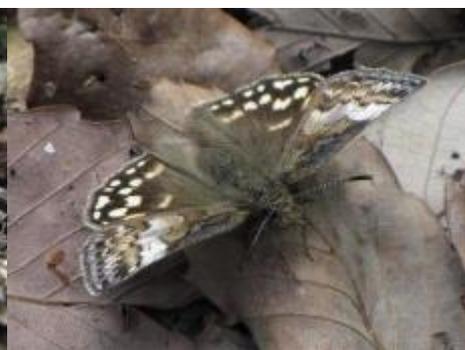
清和県民の森の管理事務所の周りは、植栽したミツバツツジが満開となり、落葉樹の山は芽吹き始めたところでした。島に入って目についたのは、フモトスミレとフデリンドウです。そこらじゅうと言って良いほど林床で花を咲かせていました。時期が異なるので去年までと比較するのは難しいですが、台風やナラ枯れ被害により林床が明るくなったために増えているのかもしれませんが。また、日が当たる明るい林床を、早春の蝶ミヤマセセリがひらひらと飛び回っていました。



種をつけたヒナスミレ



フモトスミレ



ミヤマセセリ



青空に桜が映える



桜の出迎え



抱卵中のトビ

ヒナスミレについては、葉はあるものの残念ながら花を見つけることはできませんでした。それでもよく見ると種をつけているものがいくつもあって、花が咲いたことは間違いありません。今回は残念でしたが、また来年の楽しみにしたいと思います。

ヒナスミレの開花は、いつも定例の活動日から外れてしまうので、ヒナスミレの花を見るための観察会を別に企画しても良いかな…と思いました。

センサーカメラの撮影データについては別の項で。(福島)

4月17日（日）曇 定例活動日、年次総会

〇2022 年度年次総会

年度初めの活動日ということで、午前中に定時総会を開催しました。総会では 2021 年度の活動報告と決算報告、監査結果、2022 年度の活動計画と予算案について話し合われました。今年度の活動計画は次頁のとおりですが、いろいろな新しいことに積極的にチャレンジしていくことを確認しました。



新緑の豊英島-ホテイ岬

役員については、別の記事にあるとおり、坂本さんが代表を退任され副代表に、副代表の福島が代表を務めることになりました。（福島）

参加者は秋元、伊藤、鶴沢、大原、苅米、久我夫妻、坂本、成沢、福島の 10 名、委任状 5 名でした。



参加会員 10 名、委任状 5 名で総会成立

新緑の森で 2022 年度定時総会

賑やかに代表交代

ご協力ありがとうございました。

元代表 坂本文雄

2017 年 4 月に久我さんから代表を引き継ぎました。

会での経験年数が浅いので、発足当初の状況も分からないまま、大勢の先輩を差し置いて引き受けるのを躊躇ったのですか、私が生まれて 18 まで過ごした地域での活動ですから、その点で何かの役に立てるかと思ひ引き受けた次第です。

会員増に取り組むのが急務と思っていたので、公開行事にバスを仕立ててお客様を招いて見ました。

バスは満席で行事は賑わったものの、目立った会員増にはつながりませんでした。

自然は豊かとは言え過疎地の辺鄙な所ですから簡単には入会出来ないのかなと思います。

島の外に農地を借りましたが、これも獣害で成果無し、古いボートは購入したままで湖上からの観察はまだ実現していません。

台風被害、ナラ枯れ、シカの食害による林床植物の激減など難問山積のまま代表を降りる事になりますが、今後は見識豊かで IT にも詳しい新代表のリーダーシップによる発展を期待しています。微力ながら私も引き続き会の為に力を注ぎたいと思いますので、宜しくお願いします。

何はともあれ、皆様のご協力により事故無く 5 年間過ごせたのは幸いでした。ありがとうございました。

4 月から代表を務めさせていただきます

新代表 福島成樹

午前中に行われた定時総会で役員の改選があり、2017 年から 5 年間、会の代表を務めていただいた坂本さんから代表を引き継ぎました。坂本さんには、房総半島台風やナラ枯れ被害など大変な時期に代表を務めていただきありがとうございました。歴史ある団体の代表という重責は、私にはとても荷が重いのですが、会のみなさんが安全に楽しく活動できるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。（福島）

2022年度活動計画

月 日	主な活動	摘 要
4月17日(日)	定時総会、個別活動(自由活動) (危険木伐採)	
5月15日(日)	清和県民の森散策	公開行事
6月19日(日)	シカ調査、環境整備(水辺) 駐車場・電柵付近の草刈り、(危険木伐採)	
7月18日(月祝)	光環境調査(夏)、ヒメコマツ下刈り コナラ更新林草地部分下刈り(状況に応じて)、(危険木伐採)	
8月21日(日)	夏のキノコ観察会(内部講師)	(公開行事)
9月19日(月祝)	シカ調査、環境整備(観察路、ベンチ) 駐車場・電柵付近の草刈り、(危険木伐採)	
10月10日(月祝)	秋のキノコ観察会(吹春講師)	(公開行事)
11月20日(日)	ホテイ岬地区整備、(危険木伐採)	
12月4日(日)	シカ調査、(危険木伐採)	紅葉時期
1月15日(日)	植生保護柵増設、(危険木伐採)	
2月19日(日)	光環境調査(冬)、植生保護柵増設、 (危険木伐採)	
3月19日(日)	シカ調査、ヒメコマツ測定補助、 (危険木伐採)	

原則として第3日曜日

7月18日(月祝)、9月19日(月祝)：3連休の最終日

10月10日(月祝)：外部講師依頼、12月4日(日)：紅葉に合わせて第1日曜日

植物・野鳥・昆虫・きのこ調査等は、適宜実施する。

○豊英島は春満開

豊英島はマメザクラ、ヤマザクラから若葉の淡い緑へと変わりつつあります。名残のさくら色、常緑樹の濃い緑、湖面に映り込む島影、曇天ではありましたが橋から見た島は輝いて見えました。千年広場の入口付近には、満開の真っ白なウワミズザクラが手の届くほどの高さまで枝を垂らして咲いていました。4月の活動日にこの場所を確認できたのは初めてかもしれません。



ウワミズザクラ

ミツバツツジ

ツクバネウツギ

ヤマブキ



フデリンドウ

タチツボスミレ

キランソウ

エビネ

コナラ伐採地の保護柵内では、去年の刈り出し作業のおかげで、日陰部分がなくなり風通しが良く明るくなりました。花数も増えたように思います。黄色系ではミツバツツジ、ヤマブキが咲き、白色系ではツクバネウツギ、コバノガマズミ、チゴユリ、ニガイチゴが咲き、紫色系ではフデリンドウ、タチツボスミレが咲いていました。また、親指ほどの太さで胸高まで枝もなく、ずっと立ち幹の先端に淡い緑色した羽状複葉の新芽をつけた木と赤っぽい羽状複葉の新芽をつけた木があり、スマートな形状と色彩が印象的でした。サンショウは円錐花序をだし淡黄緑色のゴマ粒ほどの小さな花を咲かせ、葉はさわやかな香りを放っていました。

保護柵外では、フモトスミレの白っぽい花が10数株まとまって咲いていました。イチヤクソウは蕾の状態です。エビネは蕾をつけた株がたくさんあり、そのうちの数株が暗褐色の花を咲かせていました。これからが見頃です。フデリンドウはまとまってはいませんが倒木等で明るくなった林床の広範囲にわたって咲き、キランソウも1株咲いていました。また、巨木調査保護柵内には、ハナイカダが葉の上面に豆粒を置いたように葉と同じような緑色で咲いていました。

3月に確認されたトビの抱卵は今も続いています。トビが巣から離れない為、卵の確認はできませんでした。3月25日に3個の卵が確認され、29日経過しています。丸山動物園の保護したトビの飼育では孵化後巣立ちまでに60日程度要したとの記述がありました。今後の活動日にトビの巣立ちに立ち会う幸運があればいいなと思いました。(秋元)

○センサーカメラの記録

島内に3台のセンサーカメラを設置し、動物の調査を行っています。吊り橋近くとトビの巣の近くの2台のセンサーカメラは、歩道に向けて設置してありますが、この2台は巨木林に設置した1台に比べて動物が頻繁に撮影されています。特に、ニホンジカやキョンはよく歩道を利用するようです。

最近の記録では、ニホンジカは4頭（メス成獣3頭と昨年生まれの1頭）の群れで頻繁に記録されているのに対し、キョンは常に1頭で記録されています。群れとなるかどうかは、おそらく種の生態的なものと思われる。

今回、珍しいと思ったのは、吊り橋の近くでキョンとニホンジカが非常に近い距離で一緒にいた映像です。お互いに距離をおいて活動すると思っていたので、これは意外でした。もうひとつ、面白いと思ったのはニホンジカの毛づくろいのような行動です。もちろん、足で毛づくろいはできませんが、体を寄せ合って舌でなめ合って毛づくろいのような行動をとっていました。動画はYou Tube チャンネル（YouTubeで「ちば千年の森をつくる会」を検索）にアップしましたので是非ご覧ください。

4月から秋元さんがセンサーカメラの担当に復帰しました。4月10日～17日の記録を以下のとおりまとめていただきました。（福島）

- トラツグミ 4/10
- ニホンジカ 4/12, 13, 14 の3日
- キョン 4/10, 13 の2日
- ハクビシン 4/10, 12, 14, 15, 16, 17 の6日
- アライグマ? 4/11
- キジ♀ 4/15

○草刈りとフキ苗の植え付け

朝8時家内と出発。途中、田んぼには水が一杯張られ、田植えが始まっています。更に山間部には、新緑の中にミツバツツジが真っ赤に咲いて美しい景色が見られました。豊英島の入り口の通路や駐車場には、昨年水仙の球根を植えたのが、大きく成長して、2月頃には一部開花したと思われる。午後、駐車場や田圃に大きく伸びた枯草を、草刈り機で刈り取りました。則子は、田圃の土手に家から持参したフキ（約50株）を植付けました。来年の3月ころにはフキノトウの収穫が期待されます（久我）



シカとキョン



シカの毛づくろい



草刈り中の久我夫人

○危険木除去のための枯れ木の伐倒

ナラ枯れにより昨年の秋頃に枯れたコナラを4本、以前から枯れていたヤマザクラを1本伐倒しました。作業者は、チェーンソー歴60年以上の苅米さん、福島さん、鶴沢さん、成沢の4名です。

広葉樹は、針葉樹のように幹が必ずしもまっすぐではないため、樹形のバランスを確認しながら伐倒方向を見極めることが重要だと思います。かかり木を避けるなど倒したい方向へ伐倒することが難しい場合は、チルホールを使用し、工夫しながら作業しました。腐朽し、もろくなった木を倒す場合、伐倒木が地面に衝突すると幹や太い枝などが碎け散ることがあるため、周辺の作業者も十分に対象木から距離をとることも重要だと思います。



チルホールで牽引しながら

伐採されたコナラ

牽引に不可欠のチルホール

チルホールで引っ張るテンションにも気を配らないと、そのテンションの影響で枯れ木が折れかねないため、チェーンソー作業員へ枯れ木が落下しないよう細心の注意を払う必要があります、とても緊張した作業現場でした。少しずつではありますが、安全第一で地道に危険木を除去していきたいと思えます。(成沢)

お知らせ

次回の活動日は5月15日(日)です。今年も公開行事として清和県民の森のハイキングを予定しています。運営スタッフが必要になりますので積極的にご参加をお願いします。

集合場所は、県民の森事務所の下駐車場になりますのでお間違いなく。集合時間は9時30分の予定です。詳しい内容はメールでお知らせします。

なお、島に入る際は危険防止のためヘルメットの着用をお願いします。